

## 令和元年度 美郷町立美郷北学園 学校関係者評価書

評定 4:期待どおりである 3:ほぼ期待どおりである 2:やや期待を下回る 1:改善を要する																				
教育目標		「ふるさとを愛し、心豊かに健康で、自ら学び将来への夢や希望をもつ児童生徒の育成」																		
めざす生徒像		<input type="checkbox"/> 心優しく、自信と誇りをもつ児童生徒 <b>やさしく 徳</b> <input type="checkbox"/> 夢や希望を抱き、自ら学び続ける児童生徒 <b>かしこく 知</b> <input type="checkbox"/> 礼儀正しく、心身ともにたくましい児童生徒 <b>たくましく 体</b>																		
項目		手段・ゴールイメージ		方策・手立て		アンケート結果 肯定的な解答の割合		現 状		自己評価										
重点実践事項1 自立の基礎としてのキャリア教育の確立	① 働くことの意義や将来の生き方を考える場の提供、情報発信	児童生徒 保護者 教師									学校関係者評価委員の評価 意見等	評価								
		美郷科を中心とした総合的な学習の時間、特別活動等を中心に、教科等を位置付けた体系的・横断的なキャリア教育プランに基づいて、11年間を見通したキャリア教育を推進する。																		
重点実践事項2 自立の基礎としての学力向上の推進	② 家庭での進路に関する積極的な会話	美郷科・北郷科を中心に全教育活動で、働くことの意味や素晴らしさ、困難さを体感させ、そのことを家庭で話題にしたり、進路に関する話を行う機会を作るなどして積極的な家庭での会話を促す。									○ これからも11年間を見据えたキャリア教育の充実に努めてもらいたい。 ○ 自然体験や地域の方々とのふれあい、職場体験などを大切にしてもらいたい。	4								
		自然体験、地域の方々とのふれあい、職場体験、子ども議会の様子などを、学校便りや学級懇談、玄関TVモニターなどで家庭に発信し、家庭での会話のきっかけとなるようにした。																		
	① わかる・できる授業を通した学習内容の定着	小中一貫を生かした教科等の指導体制、個別指導、英会話科の充実を図り、児童生徒が「わかる・できる」を実感できるような学習指導に努める。									○ 先生方は、謙虚に受け止めていると思う。がんばっていただいているので、まだまだ伸びるのではないか。 ○ 読書については、今後に期待がもてる。 ○ 塾がないので、家庭学習の習慣化を何とか向上させてもらいたい。 ○ 知らない人の前でもちゃんと発表できるように、子どもの表現力を伸ばす指導をしてほしい。	4								
		授業や各集会、学校行事などにおいて、自分で考えたこと、思ったことなどを相手にわかりやすく表現することを心掛ける。																		
		77% 81% 74% 美郷科・北郷科を中心に全教育活動において、計画的に学ぶ意義や働くことの素晴らしさを体感させることができた。また、11年間のキャリア教育ロードマップを活用しながら、「自立心・進路意識・生き方追究」を高める手立ての工夫と検証を重ねた。高校説明会やようこそ先輩、職場体験学習などの充実に努めた。																		
重点実践事項3 自立の基礎としてのたくましさの育成	③ 家庭学習の習慣化	各種テストの分析や、個人の取組反省などを学級通信や学級懇談で伝え、家庭と連携しながら、家庭学習の充実を図る。									○ 一人一人の実態を把握し、それに応じた学習指導方法の工夫・改善、個に応じた支援に努めた。具体的には、子ども一人一人の理解度を確認すること、全員に個人思考の時間、自分の考えをもつ場を確保し、堂々と発表する機会を作ることを全教職員で共通理解し、実行に努めた。	4								
		77% 73% 59% 各教科において、諸テストの分析を行い、実態を確認しながら授業改善を行った。学級通信や学級懇談等で家庭で取り組むべき課題を確認したが、家庭学習の時間、内容ともに不十分で、なかなか家庭学習の定着に繋がらなかつた。継続指導が必要である。																		
	④ 読書活動の充実	74% 64% 61% 校内にいたるところに本を置き、紹介文を添えたり、教師や児童生徒の本の感想を掲示したりしながら、読書活動への意欲化が図られた。また、地域ボランティアの方々の読み聞かせを実施し、興味を深めた。読書すくろくや読書運動会、家読の日などの取組を通して、だんだんと読書への関心は高まっている。																		
		74% 64% 61% 校内にいたるところに本を置き、紹介文を添えたり、教師や児童生徒の本の感想を掲示したりしながら、読書活動への意欲化が図られた。また、地域ボランティアの方々の読み聞かせを実施し、興味を深めた。読書すくろくや読書運動会、家読の日などの取組を通して、だんだんと読書への関心は高まっている。																		
		5 一人一人を大切にした特別支援教育体制づくり																		
重点実践事項4 自立の基礎としての体力向上と健康・安全教育の充実	① 元気で気持ちの良いあいさつの励行	各集会等であいさつの大切さやポイントについて、児童生徒会が中心となり発表したり、活動したりする。また、登下校や日常の学校生活の中など場面で指導していく。									○ あいさつは、以前に比べると、ずいぶんとよくなってきた。 ○ 整理整頓などについては、学校にまかせるのではなく、家庭がやるべきことではないか。 ○ もっと学校を解放をして、地域の方々に力を貸していただくとよいのではないか。 ○ 敬老会の行事に、子どもが参加してくれるのは、とてもありがたい。 ○ 高齢者の方々との交流を大切にしていただきたい。 ○ 上級生に対してのあいさつに、課題があるようだ。	3								
		95% 71% 45% 児童生徒会が中心となりあいさつ運動やあいさつリレーに取り組むことにより、児童生徒の意識の向上を図った。一人の時や日常の何気ない場面、喧嘩の時などに自分からあいさつできない児童生徒が多いが、集会などでは、少しずつ自分の意見を言える児童生徒が増えている。																		
	② 机や棚、トイレのスリッパ等身の周りの整理整頓の徹底	朝の会や帰りの会、学級活動、ブロック別集会等で、身の回りの整理整頓について確認する。																		
		88% 51% 72% 学校での机や棚など、自分の身の回りの整理整頓に比べ、家庭での状況はあまりよくなく、不満をもっている保護者が多い。学校では、トイレのスリッパも、ほほきちゃんと並んでいる。学校でできていることを家庭でもやることの大切さをしっかりと話していく必要がある。																		
		85% 84% 97% 地区中体連大会の推戴式では、全学園生が参加し、選手以外の学園生でエールを送った。また、全校で遊ぶ日では、縦割り班で遊ぶ取組を行い、異年齢集団による交流に努めた。																		
重点実践事項5 自立の基礎としての家庭及び地域との連携	④ 教師と児童生徒との好ましい関係作り	定期的に全児童生徒に「きららアンケート」を実施し、悩みのある児童生徒をアンテナを高くして、早期に発見する。また、廊下や運動場などの何気ない会話を大切にし、教育相談の充実に努める。									○ 学校から、元気のよい声が聞こえてくるようになった。 ○ 食育や体力の向上に力をいれていただいているのは、大変ありがたい。	4								
		96% 95% 90% 月に1回、全児童生徒を対象に「きららアンケート」を実施し、その結果をもとにいじめ不登校対策委員会を開き、全職員で共通理解を図り、対策を協議した。その後、対応した職員や生徒指導主事から経過を聞きながら、全教職員で小さなサインを見逃さないように見守ることを確認した。																		
	⑤ ブロック性を生かしたリーダー制の育成	後期ブロックは児童・生徒会の企画・運営、中期ブロックは運営と前期ブロックへの支援、前期ブロックは協力と参加など、各ブロックの活動を通して、リーダー性を育てていく。																		
		92% 94% 66% 各ブロックとも、集会や行事等を通して、リーダー育成を図った。ブロック別集会を効果的に活用し、司会や発表の経験を積ませるなど、リーダー育成の機会を意図的に設けた。																		
		3 一人一人の実態を把握し、それに応じた学習指導方法の工夫・改善、個に応じた支援に努めた。具体的には、子ども一人一人の理解度を確認すること、全員に個人思考の時間、自分の考えをもつ場を確保し、堂々と発表する機会を作ることを全教職員で共通理解し、実行に努めた。																		
重点実践事項4 自立の基礎としての体力向上と健康・安全教育の充実	① 早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活の推進	弁当日の取組を中心に食育に取り組む。さらに、学校保健委員会を活用しながら、保護者と連携した健康・安全教育の充実に努める。									○ 学校から、元気のよい声が聞こえてくるようになった。 ○ 食育や体力の向上に力をいれていただいているのは、大変ありがたい。	4								
		84% 80% 89% 弁当日の日を実施し、食育の推進を図った。また、PTAと連携しながら学校保健委員会、巡回パトロール、朝の立ち番指導などを行って、学校安全に努めた。さらに、給食感謝集会で、調理員の仕事を紹介したり、地域の生産者の講話を聞いたりして食に関する意識を高めた。																		
重点実践事項5 自立の基礎としての家庭及び地域との連携	② 意欲的な運動への取組と体力の向上	中学部の体育の教員による専門性を生かした授業や体力向上プランに基づいた体育指導の充実を図る。また、業間活動や部活動前のランニングなどを通して、日常的に体を使った遊びや運動に取り組ませる工夫をする。									○ PTA活動が充実しているのは、大変すばらしい。 ○ 先生方には、積極的に地区的行事に参加していただいている。とても感謝している。	4								
		86% 89% 90% 体育科教育の工夫・改善に努めた。また、小学部は業間の時間に持久走やなわとび運動を行ったり、中学部は部活動前に持久走に取り組んだりしながら、日常的な運動の充実を図った。																		
	③ PTA活動における地域や家庭との協力関係	ふれあい奉仕作業などの様々なPTA活動を学校と地域・家庭が協力して運営する。																		

